

ダイワボウホールディングス株式会社

国内最大級のITインフラ流通事業を核に新たな成長を目指す
——繊維と産業機械を合わせた3つの事業で社会課題の解決に貢献

ここに
注目!

ITインフラ流通事業における全国94の拠点網と圧倒的な調達力
ビジネスモデル変革と社会課題解決をテコにした事業の将来性

1941（昭和16）年に創業した大和紡績を祖業とするダイワボウホールディングス株式会社。紡績会社の多くが変革の歴史を積み上げてきたが、ダイワボウグループほどに劇的な変化を遂げた企業は少ない。国内法人向けパソコン（PC）の3割以上を卸りするITインフラ流通事業を中核に、高性能素材を軸にする繊維事業、立旋盤を強みにする産業機械事業の3事業で、連結売上高1兆円規模のグループに発展。このうちPCと付随するソフトウェアや周辺機器を幅広く取り扱うITインフラ流通事業の売上比率は、実に90%を占めるに至った。今やダイワボウの名前は“糸”のイメージを超えて、国内最大級のITディストリビューターとして定着している。

先見性のある事業運営で独自の強み

ITインフラ流通事業は、かつて紡績工場のモニタリング装置の開

発に携わった10人が、PCの販売に乗り出したのが始まり。事務機器系販売店やシステムインテグレーター（SI）、量販店などへの卸売りに特化し、メーカーより早く納品できる即納体制を武器に全国に支店を広げていった。西村幸浩社長は、「大量の在庫をベースにした迅速な納品と、全国拠点網によるFace to Faceの営業が基本。在庫圧縮や効率重視の経営とは異なるいわば逆張りだが、先見性のある事業運営で独自の強みを発揮し、グループの成長を牽引してきた」と言う。

現在、ITインフラ流通事業を担うダイワボウ情報システム株式会社（DIS）は、約1,300社に及ぶメーカー・サプライヤーからIT関連製品約220万アイテムを仕入れ、全国94カ所の営業拠点を通じて、各地の販売パートナーに商品・サービスを供給する。関東と関西の大型物流センターを含む全国5カ所の物流拠点を構え、在

庫力を生かした自慢の即応体制は高く評価されている。販売パートナー約1万9,000社に対するセットアップやインストールなどの納品前作業からアフターサービスまでをワンストップで施せる営業サポート力のほか、1,300社のメーカー連携による圧倒的な調達力も大きい。メーカーにとってもDISは「量」を見込める頼れる顧客だけに、需給がタイトな局面になれば、なおさら同社の調達力が際立つことになる。

これらの強みが十二分に発揮されたのが、「小中学生1人1台のPC」を掲げた文部科学省の「GIGAスクール構想」。持ち前の調達力と在庫力を活用し、全国の営業拠点から、販売パートナーを通じて全市町村の約8割にあたる自治体への導入に関わることが出来た。

新型コロナウイルスで一気呵成に進んだ教育現場の端末導入を下支えした会社だが、文教ビジネスの拡大の



DIS：地域に密着したFace to Faceの営業スタイル



大和紡績：暮らしの未来を変えていく繊維メーカー



OM：新幹線等の車輪をメンテナンスする床下車輪旋盤も国内シェアNo.1

みならず、高度化・多様化する技術に対応できる各種ソリューション事業も強化している。それらビジネスモデル変革の代表格となるのが、企業や社会のDX推進に対応したサブスクリプション型クラウドサービスを販売パートナーが一元管理できる「iKAZUCHI（雷）」。直近3カ年の平均成長率が58.8%という大きな伸びを見せる「iKAZUCHI（雷）」の取扱高は、23年3月期200億円を計画している。

ESGの取り組みを強化

一方、祖業の繊維事業を営む大

和紡績株式会社では、衣料品から不織布をはじめとする機能性素材に軸足を移し、紙おむつの材料やフェイスマスク・除菌シートなどの生活用品に用いる不織布のほか、産業用の洗浄フィルターなど事業領域を拡大。そしてパルプ由来で生分解性に優れたレーヨンなど、サステナビリティに配慮した研究開発を積極的に展開している。

産業機械事業の株式会社オーエム製作所（OM）は、発電用タービンや航空機エンジンの製造に欠かせない中大型の立旋盤で国内トップシェアを持つ工作機械メー

カー。省エネや省人化に対応した自動包装机などの受注が好調で、今後はエネルギー関連や自動化ニーズを取り込みさらなる成長を目指す。

3事業を統括するダイワボウホールディングスの株主の3分の1は外国法人。「カーボンニュートラルをはじめとするESGの取り組みは一段と強化する」（西村社長）として、このほどESG推進室を新設した。ビジネスモデル変革に挑戦しつつ、ESGに配慮した様々な商品やサービスを開発し世に送り出すことで新たな成長につなげていく。

「わが社」を語る

代表取締役社長
西村 幸浩氏



社員の成長と一体感の醸成を大切にするグループ企業体

紡績業を発祥とする当社は、社会構造の変化に対応して事業変革を果敢に実行し、ITインフラ流通事業を核とするグループ企業体に生まれ変わりました。全国に人を配した顔の見える営業を軸に、ユーザーの皆様、販売パートナーの皆様、メーカーの皆様にとって必要な存在であり続けたことが主因です。今後もサブスクリプションビジネスや学校教育の情報化など、IT成

長分野への取り組みを積極化する一方、環境や安全に配慮し繊維事業、産業機械事業を強化していきます。その原動力となるのが社員の力です。社員の成長と一体感の醸成を大切にするダイワボウグループの姿をもっと知ってもらえるよう、さらなる情報発信に努めてまいります。

会社 DATA

所在地：大阪市北区中之島3-2-4 中之島フェスティバルタワー・ウエスト

設立：1941（昭和16）年4月1日

代表者：西村 幸浩

資本金：216億9,674万4,900円（東証プライム上場）

従業員数：連結5,671名（2022年3月31日現在）

事業内容：ITインフラ流通事業：コンピュータ機器および周辺機器の販売等

繊維事業：化繊綿、不織布製品、産業資材関連の製造加工販売業、紡績糸、織物、編物、二次製品の製造販売業

産業機械事業：生産設備用機械製品、鋳物製品の製造販売業

URL：https://www.daiwabo-holdings.com



8月に移転した本社入居ビル外観



DIS：可能な限り年に1回の社員旅行
数年ごとに海外の可能性もあるかも（写真は前回のハワイ）